

平成 30 年度 第 304 回教育研究審議会議事要録

日 時 平成 30 年 12 月 4 日 (火) 13:30~14:00
場 所 北方キャンパス本館 E701 会議室
出席者 松尾学長、柳井副学長、梶原副学長、二宮副学長、中尾副学長、田上事務局長、
大平外国語学部長、朱経済学部長、田部井文学部長、小野法学部長、眞鍋地域創生学群長、
龍国際環境工学部長、日高基盤教育センター長、八百社会システム研究科長、
任マネジメント研究科長、今泉学生部長、田村教務部長、後藤入試広報センター長、
佐藤情報総合センター長、廣渡評価室副室長

配布資料 1 副学長等の選考について
2 特任教員の選考について
3 中原大学との大学間協定等の締結について
4 国際環境工学研究科における長期履修制度の導入について

第 1 号 副学長等の選考について

* 資料 1 のとおり、副学長 4 名及び社会システム研究科長の選考について提案。

○ 副学長の担当業務については、今回から内部質保証の項目に沿って決定している。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

第 2 号 特任教員の選考について

* 資料 2 のとおり、学長付き特任教員 2 名の選考について提案。

- 危機管理・コンプライアンス・規程等法令整備等を担当する特任教員及び「i-Design コミュニティカレッジ」塾長等を担当する特任教員を選考するもの。
- 今回の特任教員の根拠規定はどれにあたるのか。
- 北九州市立大学特任教員、特命教授及び特任研究員に関する規程第 2 条第 5 号である。
- 各部署が行う規程改正等について、規程等法令整備への助言をはじめとした貢献をいただいているが、岡本特任教授に頼ってしまっている。この状況が続くと本学で自ら規程や文章を作成できる人材が育たないのではないか。今後の人材育成を考えたシステム化を検討いただきたい。
- 大学として今後の対応について検討したい。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

第 3 号 中原大学との大学間協定等の締結について

* 資料 3 のとおり、中原大学との大学間協定等の締結について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

第 4 号 国際環境工学研究科における長期履修制度の導入について

* 資料 4 のとおり、国際環境工学研究科における長期履修制度の導入について提案。

- 様式に和暦を使用している箇所があるが、来年から元号が変わるため、外しておいた方がよいのではないか。

○ 元号の取扱いについては、学内のものはできる限り統一し、西暦としたいと考えている。

【議長】 提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】 (異議なし)

報告

① 次回の審議会を平成30年12月18日(火)に開催する予定の旨、連絡があった。